



たいしも通信

我が隊友会は、本来ならば陸海空が均等にあってほしいところですが、現実には圧倒的人数差で、この隊友会を見ても、陸自出身の方が大半を占めているのが現状です。これは仕方ないことではありますが、海自出身の私としては、ただただ羨ましいところです。その中で、陸海空自衛隊の違いのうち、最も目立つのが駐屯地や基地といった本拠地の呼称の違いです。

◆基地と駐屯地の違い

海自や空自が居る場所の呼称は基地です。しかし、陸自が居る場所は駐屯地と呼び、基地とは言いません。空自と海自は基地と呼ぶのに、なぜ、陸自だけは駐屯地と呼ぶのでしょうか。

●基地とは

基地とはその名の通り、基点となる場所のことです。そこには司令部など指揮機能だけでなく、整備や補給の施設が備わっています。また、航空基地であれば滑走路と格納庫、艦艇の基地には港湾施設等があります。当然、それらは簡単に作れるものではなく、一度作ってしまったら基本的には移設は不可能となります。

●駐屯地とは

駐屯とは軍隊が一時的に留まるという意味です。「屯」とは「たむろ(する)」とも読み、軍兵の群れ、集合した兵士、という意味があります。つまり駐屯地とは、陸自があくまでそこに一時的に駐屯している場所ということになります。一般的な陸自の部隊では、滑走路や港湾施設といったように必須のインフラはなく、局限すれば、テントを張れば、どこでも駐屯することが可能ということもできます。つまり、駐屯地は基本的に移設が可能な施設になり、陸自は移動することを前提としている部隊ということが

できます。

現代においては土地の問題もあり、さすがに山口駐屯地等が数年毎に移動する、というようなことはあり得ませんが、慣習的に基地、駐屯地と呼称の使い分けが残っているようです。

●米軍における BASE と CAMP の違い

米軍にも同じように BASE(基地)と CAMP(駐屯地)とがあります。自衛隊との大きな違いが、陸軍や、それに近い組織の海兵隊にも BASE(基地)があるということです。

BASE の本来の機能は司令部になります。そこには訓練施設、物資金の保管、軍人とその家族の住居を構えています。さらに常設のものには教会、体育館、学校、家族も利用できる病院などの機能を備え、小さな都市機能を持っています。平時には部隊の戦闘準備を行い、軍備を整え、兵士を訓練し、装備します。有事の際は司令部として作戦指揮と後方支援を行います。

CAMP については自衛隊の駐屯地と同じような位置づけで、一時的な部隊の拠点であり、兵器や補給品を保管する場所であり、戦闘に備えるための戦闘訓練も行います。

米海兵隊の岩国基地は、CAMP IWAKUNI ではなく IWAKUNI AIR BASE と表記されています。

▼▼編集後記▲▲

岩国基地と言えば、世界に冠たる米軍のイメージがあります。が、米国の友人に聞くと俸給は意外と高くなく、各種手当や福利厚生で補っている感があります。とはいえ、例えばスーパーや託児施設は当然として、映画館やペット預かり所などには驚かされました。

例によって、内容に関する責任は全て支部長にあります。特に規則等に定めているもの以外は私の個人的見解が色濃く反映されていますので、ご意見等ございましたら遠慮なくお知らせ下さい。